

キャラクター名
空 (うつお)

プレイヤー名

シンドローム	ハヌマーン ノイマン		ワークス	FHエージェントA	カヴァー	無職
	オプション		年齢	若い	性別	男
覚醒	忘却	衝動	破壊	初期侵食率	33 %	
出自	天涯孤独	経験	喪失	邂逅	探求	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	28
肉体	1	1	0			2	行動値	6
感覚	1		0			1	(非装備時)	6
精神	4		0			4	戦闘移動	11
社会	2		0			2	全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志		-5	調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報: FH	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
滅びの刃@<100	白兵	2r+1	6	10		使用時侵食値+2
滅びの刃@≥100	白兵	2r-1	9	20		使用時侵食値+2

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:		合計回避:	
ウェポンケース		0	0		

ロイス			
対象	感情(pos)	感情(neg)	消費
[53] 強化兵/バーサーカー	P	N	
縛々縛後' 縲峨☆	P 連帯感	N 隔意	
縛励? 縲	P 尊敬	N 劣等感	
	P	N	
	P	N	
	P	N	
	P	N	

最大財産P:	6	残り財産P:	
--------	---	--------	--

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンバットシステム	3	3	メジャー/リアクション	-	-	対決	-	
効果: 白兵判定+(Lv+1)D								
一閃	1	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果: 離脱不可能な全力移動								
切り払い	1	1	メジャー	至近	自身	対決	-	
効果: <白兵>でドッジ可能								
援護の風	4	2	オート	視界	単体	自動	-	
効果: 判定+LvD、1回/1R								
居合	5	3	メジャー/リアクション	-	-	-	-	
効果: 達成値+Lv×2、1回/1R								
カウンター	1	4	リアクション	武器	単体	対決	80%	
効果: リアクション時、メジャーで達成値を比べあひ勝利者のみ命中、1回/1S								
フェイタルヒット	3	4	オート	至近	自身	自動	100%	
効果: ダメージ+LvD、1回/1R								
コンセントレイト	2	2	メジャー	-	-	対決	-	
効果: C値-Lv								
リフレックス	2	2	リアクション	-	-	対決	-	
効果: C値-Lv								
ヴォーパルキーパー:力の証	4							
効果: 「滅びの刃」取得								
	★							
効果:								
効果:								
効果:								

記憶喪失のリエゾンエージェント侍。身体に染み付いた剣術以外のすべてを忘却した彼の周りには、彼を捕縛しようと十数人のエージェントが取り巻いており、血で錆びた鈍らでそれらを御したころ、彼を安全地帯に逃がそうと何人かのエージェント現れた。善悪どちらの価値観にも与せず、失った記憶と強敵との死闘を求める彼にとってそれらの欲望を満たしてくれるのならどちらの組織に与してもよかったのだが……前者のエージェントがUGN、後者のエージェントはFH、であったことから彼はFHに所属することになった。単体のオーヴァードとしてひとつづつたつたセルであれば壊滅させられるほどの戦闘能力を有していること、過去の手がかりや強敵を餌にすれば素直に任務に取り掛かること、そして、コードウェルや12のリエゾンロードのどの思想にも染まっていないこと。それらの点を加味して、彼はセントラルドグマ直属で仕事をこなすリエゾンエージェントという役職が与えられた。

先程も述べた通り彼は記憶喪失。名前や経歴はおろか自分の性格やしゃべりかたすら覚えていない。空っぽの彼に残っているのは、自分のことを知りたいという至極全うな知識欲とひとりのリエゾンロードが仙童流と称した武術、そしてそんな剣術を駆使して罅迫り合わせて殺しあうオーヴァード同士の戦闘に心が躍るという闘争心のみであった。まずは形からということで、袴に袖を通し「ござる」口調でキャラ付けをし、小出しにされる自分という存在の手がかりのため、セントラルドグマの命令に従って殺し合いにいまこの時も身を投じていることだろう。